

2学期も山中生の頑張り、成長、可能性を感じました!

2学期も、残りわずかとなりました。日々の生活や行事、部活動を通し、子どもたちの成長や可能性を感じることができました。11月に行いました文芸発表会では、オープニングでの若さあふれるエネルギッシュな姿、全校で作上げた見事なモザイクアート、総合的な学習の時間の学びを真剣な表情で堂々と発表する姿、心を合わせて素晴らしいハーモニーで歌い上げる合唱、海外体験談、英語暗唱や各部の成果披露と多彩なプログラムの一つ一つに山中生の頑張り、成長、そして可能性を感じた一日でした。壁に飾られた展示作品も本当に芸術性の高さを感じました。春の体育大会、夏の中体連や各種コンクール、そして秋の文芸発表会と誇れる自慢の行事です。

また、日頃、学校応援団として活躍いただいています「さくら会」の皆様から楽しい話や優しさに包まれるすてきな歌声を披露していただき重ねてお礼申し上げます。本当に幸せですてきな秋の一日になりました。

さらには、2年連続全国大会に出場する女子駅伝チーム、科学展で最高の県知事賞に輝いた3年前原一磨君の研究、全日本コンクールで銀賞に輝いた合唱部、熊本県選抜として全国大会に出場するハンドボール部3年古閑太一君など、うれしいニュースがいっぱい届きました。(学校ホームページに表彰一覧を掲載しますのでご覧ください)



18日(日)全国大会に出場する女子駅伝チーム



修学旅行での学びを発表する2年生

「好きです!山中」その8

文芸発表会のプログラムの一つとして、毎年「校内合唱コンクール」が行われます。各学年ごとにコンクールを行い、学級単位で行われる山鹿中の宝物です。コンクール前には、すてきな歌声が各教室から響き、本番前から心躍りました。本番での全校合唱そして学級の見事なハーモニーに心から感動しました。なかには、合唱曲を100回以上も歌い込んだ学級もあると聞きました。合唱を通し、さらに学級の団結が深まり、一生忘れられない思い出の一曲になったことと思います。

